



2月3日の
竹節には

恵方巻きを
食べます。

今年の恵方は
北北西。

意外と
きゅちりして
かてやパンダでした。

かてやパンダと節分



浜咲 敦さん (51)

28年間、消防士として人々の安全を守る。現在、竹原消防署当直司令官兼第1救急係長を務める。竹原市で第1号の救急救命士。

浜咲 市民のみなさんの防災への関心が高くなってきたのを感じます。防災訓練や救命講習などにも積極的に参加していただけるようになりました。もし大災害が起こったら、私たち消防士はごくわずかな事しかできません。自分の命は、自分で守ら

消防士

人々の安全・安心のために



櫻井 爽さん (21)

平成21年に竹原消防署に入署し、現在3年目。竹原市で生まれ育ち、日々訓練などに励む。本町在住。

昨年、東日本大震災では、消防士が活躍する場面がテレビなどで多く見られましたが、災害後、何か変わりましたか。

櫻井 僕は、小さい頃からずっと、消防士に憧れていました。地元で働きたいという思いもありました。

浜咲 人のために役立つ仕事になりたいと思っています。選んだのがこの仕事です。

緊急時に現場に駆けつけ、人々の安全を守る消防士。目指したきっかけを教えてください。

人のうごき
(住民基本台帳登録者数)

人口	28,827人
男	13,623人
女	15,204人
世帯	12,845世帯
1年前	29,335人
5年前	30,791人
- 1月1日現在 -	



櫻井 僕は黒滝山の火災が印象に残っています。

浜咲 ありましたね。あれは1

市内で起きた災害の中で、特に印象に残っている災害はありますか。

意味で、自分自身はもちろんですが、家庭や地域でも防災に関する意識が高くなったというのは、とても良い事だと思います。



防火訓練の様子

最後に、一言お願いします。

櫻井 僕は黒滝山の火災が印象に残っています。

市民のみなさんが安心して暮らせるように、少しでも力になればと思います。安心・安全のまちづくりに向けて、努力し続けていきたいですね。

年ほど前だったかな。

ティータイム

毎日厳しい寒さが続いています。風邪などひいていませんか。私の風邪対策は、帰宅時にうがい・手洗いを欠かさないと。おかげで、ここ数年風邪をひいていません。やはり、基本が大切です！みなさんも、健康にはご注意を。



(この広報は再生紙・大豆油インクを使っています。)